



平成 28 年 1 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社 鈴木
代表者名 代表取締役社長 鈴木 教義
(コード：6785、東証第一部)
問合せ先 取締役専務執行役員 横山 勝登
(TEL. 026-251-2600)

業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 8 月 10 日に公表した平成 28 年 6 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 27 年 7 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）の業績予想を修正しましたのでお知らせいたします。

また、同期間において特別損失（関係会社株式評価損）を計上することになりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 6 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 27 年 7 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	11,753	647	694	301	24.35
今回修正予想 (B)	11,954	812	681	198	16.04
増 減 額 (B - A)	201	165	△12	△102	—
増 減 率 (%)	1.7	25.5	△1.9	△34.1	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 6 月期第 2 四半期)	11,185	678	788	343	27.73

2. 修正の理由

スマートフォン向けの高需要を背景に、民生向けコネクタ用部品が好調に推移していることに加え、自動車電装向け部品も堅調に推移していることから売上高、営業利益は予想を上回る見通しとなりました。また、経常利益につきましては営業外費用において、海外子会社への貸付金等に対する為替差損 1 億 5 千 9 百万円の計上もありましたが、概ね計画通りに推移しております。

一方、平成 28 年 6 月期第 2 四半期連結累計期間において、インドネシアの持分法非適用の

関連会社である PT. GLOBAL TEKNINDO BERKATAMA の経営成績及び財政状態が悪化したため、当社が保有する同社株式について、5 千 5 百万円の関係会社株式評価損を特別損失に計上することとなり、親会社株主に帰属する四半期純利益は予想を下回る見込みとなりました。

なお、平成 28 年 6 月期の業績予想につきましては、為替の動向が不透明であることから、平成 27 年 8 月 10 日に公表いたしました通期の予測は据え置くことといたします。

***業績予想の適切な利用に関する説明**

上記に記載した業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上